

清流

題字：芳野 充

平成31年2月28日
第26号

発行所 加来不動産㈱
発行者 加来 寛
北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穂やかに
静かに
清流のように

親しき仲にも礼儀あり

「謙虚」^{けんきょ}とは、^{ひか}辞書によると「控え目で、つましいこと。へりくだつて、すなおに相手の意見などを受け入れること。また、そのさま。」とあります。^{いま}ではとても温厚で仏さまのような池田繁美先生も、かつては短気で傲慢な人間だったと申しております。税理士として仕事が順風満帆な時期に、傲慢さがたたり大切な顧問先をうしなったことを、著書『素心のすすめ』に述べております。顧問先をうしなつたことよりも、謙虚さを忘れ傲慢な人間になりさがつた自分が情けなく、涙を流したそうです。そのときの自分自身を省みて書き出した項目が、「謙虚さがなくなる兆候十四項目」です。すこしご紹介します。

時間に遅れだす約束を自分のほうから破りだす
あいさつになりだす
他人の批判や会社の批判をしだす
すぐ怒り出す（^わ宽容さがなくなる）
他人の話をうわ調子で聞きだす
仕事に自信がでてきて、勉強しなくなる
他の人のごとの対応が緩慢になる
仕事に自信がでてきて、勉強しなくなる
打理論派になりだす（屁理屈を言う）
打算的になりだす（損得勘定がしみつく）
自分がえらく思えて、他人がばかに見えてくる
目下の人に対して、ぞんざいになる
言ひ訳が多くなる
「ありがとうございます」という言葉が少なくなる（感謝の気持ちがなくなる）

ついつい家庭では甘えがでてしまい、謙虚さがなくなる兆候がそのまま出てしまうことが度々あります。「外で働いて気をつかい、家でも気をつかっていっては窮屈でたまらない」という思いを当初はしておりました。しかし考えると、妻は仕事も手伝ってくれ、さらに育児や料理や洗たくなど家事全般を担ってくれています。わたしの甘えやわがままで妻や子どもたちに不快感を与えていたことに気づいてからは、意識するようになりました。「親しき仲にも礼儀あり」ということわざもあるように、「妻だから」「子どもだから」で傲慢な行動をとることを、すこしでも減らしていきたいと思います。

加来

寛

